

サンビレッジ国際医療福祉専門学校の学生さんが 見学実習をされました。

平成30年11月30日（金）と平成30年12月5日の2日間、サンビレッジ国際医療福祉専門学校 言語聴覚学科2年生の学生さんが当センターに見学実習に来所されました。将来は言語聴覚士として病院や施設で訓練を担当するお仕事につきます。近年、“発音が悪い”“ことばが遅い”“吃音がある”など“ことば”について課題を持つ子ども達も言語訓練を受けることが多くなりました。子ども達に接することが初めての学生さんばかりで始めは緊張していた様ですが、子ども達のはつらつとした姿に“将来子ども達の言語訓練をやってみたい”と思われた方もいたようです。

（感想）

- ・指導の仕方や子どもとの関わり方について学ばせて頂き良い経験になりました。始めは成人の施設に就職したいと思っていましたが、子どもと先生方の接し方を見て興味を持つことができ、療育センターの仕事に魅力を感じました。
- ・センターに通う子は“苦手”を持っている子が多く、そこを注目してしまいがちですが、出来ない事じゃなくて今できる事に注目して伸ばしていくと言う事を知りました。
- ・昨年度見学させて頂いたお子さんがいて、活動範囲が広がっていたり、表情や感情表現が豊かになっていて成長を感じました。
- ・私は将来子どもと関わる施設や病院に行きたいと思う気持ちが強いので、とても実りのある実習になりました。
- ・子どもが苦手であり接したくないという思いを持っていましたが、子どもの生き活きとした姿や先生と子どもたちが楽しく交流している姿をみて、考えが少し変わりました。この様な場所で、何かしら関わる事ができたらいいなと思うようになりました。
- ・発達に心配がある子ども達との接し方は難しく、大変だなと感じるところもありましたが、子どもが今どんな事を考えているか、今何がしたいのかと言う事を察し、触れ合う事で子どもとの信頼関係が生まれるのだと分かりました。
- ・言語訓練では1対1で訓練を行いますが、こちらの施設のように遊びの中で言語の発達を促すのもすてきな支援方法だなと思いました。

皆さんの将来のご活躍を期待しています！